NEWS RELEASE

2026.11.5

「令和 8 年 熊本地震に対する“最適化栄養食”での支援」
熊本県氷川町の小中学校、宇城市の特別支援学校の学校給食として
“最適化栄養食”「冷凍 完全メシ DELI ジェラート」を提供

一般社団法人 日本最適化栄養食協会（理事長：伊藤 裕）は、2026 年 9 月 25 日(金)、10 月 16 日(金)、10 月 30 日(金)に熊本県教育庁と連携し、氷川町の 5 ヶ所の小中学校、宇城市の特別支援学校の学校給食として“最適化栄養食”「冷凍 完全メシ DELI ジェラート」を提供させていただきました。

令和 8 年 熊本地震で被災した子どもたちの学校給食を支援
33 種類の栄養素とおいしさのバランスを追求した“最適化栄養食”のアイスを提供



氷川町立竜北西部小学校で提供されたアイスを食べる様子



熊本県立松橋支援学校で提供されたアイスを食べる様子

7 月 28 日（火）午後、酷暑が続く熊本県において最大震度 7 を観測する大規模な地震が発生しました。被災された皆様、ならびに関係者の皆様に、先ずは心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早く関係者の皆様の安寧が取り戻されることを祈念申し上げます。

一般社団法人 日本最適化栄養食協会では、かねてより発災後に生じる栄養の偏りによる栄養課題の解決に向けた取り組みを推進してまいりました。その取り組みを通じて“災害支援食”として有用であるとの理解も広がり、現在は熊本県人吉市を含む 4 つの自治体と災害発生時に“最適化栄養食”の手配を支援する災害協定を締結しております。

この度、当協会の会員企業である日清食品株式会社の支援を受け、熊本県教育庁と連携し、氷川町、宇城市の合計 6 ヶ所の小中学校、特別支援学校の学校給食として 33 種類の栄養素とおいしさのバランスを追求した“最適化栄養食”「冷凍 完全メシ DELI ジェラート」約 1,100 食を提供しました。冷たくて食べやすく、栄養サポートとして有用な“最適化栄養食”を食べた児童・生徒・教職員の皆様には大変喜んでいただくことができました。

また、本件は“最適化栄養食”を学校給食として活用した初の事例となり、“最適化栄養食”の新たな活用方法になることが期待されます。

当協会といたしましては、会員の皆様と力を合わせ、被災された方々や現地で支援活動をされている方々に対し、食を通じた支援に取り組んでまいります。

■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」について

1. 目的

年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整された食を通じ、人々のウェルビーイング（身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること）に資することを目的として、次の事業を行う。

2. 事業内容

(1) “最適化栄養食”及びその評価に関する規格化

(2) “最適化栄養食”の栄養設計基準登録、製品認証

(3) “最適化栄養食”に関する調査研究

(4) “最適化栄養食”の普及に関する活動

(5) 前各号に掲げるもののほか、当協会の目的を達成するために必要な事業

■“最適化栄養食”とは

“最適化栄養食”とは、年齢や性別、生活習慣など、一人ひとりの状態に合わせて主要な栄養素がバランスよく適切に調整されていて、ターゲットとする対象者における健康に与える影響がヒト試験などで検証された食です。日本最適化栄養食協会では“最適化栄養食”の栄養設計を登録し、製品認証を行ってきました。

■“最適化栄養食”認証マークについて

“最適化栄養食”認証マークは、当協会に登録された栄養設計基準を過不足なく満たすことのできた製品にのみ付与されます。

■「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」ウェブサイト

[URL] https://www.saiteki-eiyo.org

このリリースに関するお問い合わせ先
「一般社団法人 日本最適化栄養食協会」
東京都渋谷区千駄ヶ谷三丁目 50 番 11 号
contact@saiteki-eiyo.org